

「I like my town. (自分たちの町・地域)」 (8時間扱い)

We Can! 2 Unit 4

授業者 伊藤 光

1 教材の特徴 学習内容の 系統性

本単元では「自分たちの町・地域」を話題として取り上げ、単元末に「自分の町・地域の紹介カードを作って発表したり、発表を聞いて意見を話したりする」活動を設定することとし、英語の5つの領域のうち話すこと（発表）を重視します。

話すこと（発表）に関して見ると、外国語活動においては「人前で実物を見せながら、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すこと」を目指していました。外国語科では、「学校生活や地域に関することで伝えたいことを整理して話すことができることに発展」し、「伝えようとすることを整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする」という目標を達成していきます。そしてこの項目は、中学校の外国語科での「日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」につながっています。

小学校学習指導要領
解説外国語活動・外
国語編 p81

本単元の目的

したがって、本単元では、「自分たちの町・地域にある施設を話すだけでなく、欲しい施設と理由も考え、内容を整理し、簡単な語句や基本的な表現を活用して聞き手に分かりやすく発表する」ことを目指します。



図1 本単元の目的

教材の難しさと 解決の方策

本単元で重視する話すこと（発表）には3つの特有の難しさがあると考えます。

- ① 伝えたい内容の明確化
- ② 3～5文程度の英文に整理
- ③ 聞き手に分かりやすく話す

粕谷 (2016)

①に関しては、「言葉は、何かを伝えたい、聞きたいというエネルギーが源にあり、それに音声をつけられ、音声に



図2 話すこと(発表)の難しさと
第二言語習得理論に基づく課題解決

対応する文字がある」という言葉にあるとおり、子供が自分の考えや伝えたい内容を明確にしている必要があります。したがって単元の学習の課題を設定する際に、コミュニケーションの目的、場面、状況を押さえた上で子供の考えを引き出したり、単元の学習の中で自分の考えをもったりできるようにしなければなりません。

樋口他 (2013)

②に関しては、伝えたいことを整理し、その内容に合わせて既習の語句、表現、文の形を選べるようにする必要があります。第二言語習得の特徴として「学習者は、インプットからインテイク（取り込み）、インテイクからアウトプットの過程で文法構造などに気づき、理解した文法構造などを自分で考えて応用することで、自らが新たに文を生成し、産出できるようになる」ことが指摘されています。言語活動の中でインプットやアウトプットの繰り返しを通して定着を図る必要があります。また、伝えたい内容を整理できるようにするためには、まとまりのある話を聞いて、その概要を捉えることに慣れている必要もあります。

③に関しては、外国語活動での学習経験を生かし、イラストや写真を掲載したポスターなど見せながら話すことを大切にしなければなりません。さらに、聞き手に分かりやすく話しているのかを自分で確認できる記録動画や、英語を使って、どのようなことができるようになったのかを評価するための学習到達目標（CAN-DOリスト形式の評価規準）や、どの程度できているのか評価するためのルーブリック（基準表）を子供と共有している必要があると考えます。

中心となる概念

本単元の話すこと（発表）の学習到達目標（CAN-DO）は「自分の町や地域を紹介する場面で、町や地域にある施設、自分が考える改善点、欲しい施設等を伝え合うための簡単な語句、基本的な表現を使って、他者に分かりやすく話すことができる」です。身近で簡単な事柄として、地域にある施設や欲しい施設、地域のよさ等について触れていく中で、自分の考えや気持ちを明確化できるようにします。その上で他者に配慮しながら発表する一連の学習を通して、本単元の目標を達成できるようにします。

2 本単元の目標と学習内容を身に付けた姿、具体的支援（課題設定、追究、パフォーマンス、メタ認知）

目標
**本単元で鍛える
見方・考え方**

自分たちの町や地域にある施設や欲しい施設に関して、他者に配慮しながら聞いたり話したりすることを通して、地域のよさや課題について自分の考えや気持ちを伝え合う。

- ・ 自分たちの町や地域にある施設を押さえ、欲しい施設を見だし、それらについて好みや興味・関心といった視点から他者の共感を得られるように伝える方法を考える。
- ・ 教師や多くの友達との対話の中で、自分たちの町や地域について発信するための紹介カードを見せながら発表するために、伝える内容を聞き手に分かりやすく整理したり、既習の語句、表現、文の形等の中から必要なものを選択したり、望ましい発表方法を追究したりする。

「子供が学びをつくる」ための具体的支援

追究 コミュニケーションを行う目的や場面、状況を明示。様々な友達を相手にする機会を言語活動の中に意図的に設定。発表内容を整理するためのワークシートを用意。

課題 Let's Watch and Think を視聴し学習の見通しを立てる場の設定。学習到達目標 (CAN-DO) の共有。

パフ 自分も他者も共に理解可能な語句、表現等の中から伝えたい内容に近いものを選択を促す。写真やイラスト等の積極的な活用や、伝えたい内容を整理したカードの作成及び提示を促す。

メタ 記録動画とループリックを活用した発表の改善点を見いだす場の設定。学習到達目標 (CAN-DO) に即した振り返りの場を設定。振り返り内容の可視化、構造化。

**メタ認知を促す
記録動画、
ループリック、
CAN-DO
に即した振り返り**

自分の町や地域の紹介カードを作って発表する際に、発表の動画を撮影し、友達から発表の様子について意見をもらったり記録動画を見返したりしながら、ループリックと照らし合わせてよさや改善点を見いだす活動を位置付けます。ループリックは、聞き手に分かりやすく発表するための具体的な観点（流暢さ、正確さ、考えの整理、積極性、話し方、非言語の手段や言い換え）と到達度を盛り込んだ内容とします。

また単元の一連の学習の振り返りは、単元の導入で共有する学習到達目標 (CAN-DO) に即した項目による振り返りカードで行い、成果に着目できるようにします。さらに一連の学習の成果を学級全体で多面的に捉え、授業のみならず生涯にわたって継続して外国語習得に取り組んだりコミュニケーションを図ったりすることができるようにします。その際の視点は、できるようになったこと、わかったこと、楽しかったこと・生かせそうなこととし、板書をTチャートの形で行います。これらの支援により、子供は外国語科における自己の学びを客観視し、モニタリングできるようになると考えます。

**課題設定の場と
学びの必要感の
醸成**

外国語科において「子供が学びをつくる」ことができるよう、コミュニケーションを行う目的、場面、状況等を明確にします。そこで単元の導入において、Let's Watch and Think を視聴し学習の見通しを立てる場を設定します。あわせて学習到達目標 (CAN-DO) を子供と共有し、単元の一連の学習をとおして「英語を使ってできるようになること」を設定します。これにより、子供たちは自らの学びの価値に気付けると考えます。

さらに、子供が課題を切実なものとして捉えることができるよう、近い将来に日々の学びの成果を生かして留学生（日本の文化や教育について学ぶために、10月にカナダから来校予定）と交流する機会を設け、各単元の学びが交流とつながるようにします。これらの支援により、子供は留学生に、何を、どのような言葉で伝えたらよいかを見いだすことができると考えます。

**本単元の
学習内容を
身に付けた姿**

知識・技能【知技】	思考・判断・表現【思判表】	主体的に学習に取り組む態度【主】
地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさを聞いたり言ったりすることができる。	地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。	他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、伝え合おうとする。

4 単元計画

時	子供の学習活動 (○)
1	<p>○ Small Talk 学校内の好きな場所とその理由</p> <p>○ Let's Watch and Think 2 を視聴し、コミュニケーションを行う目的、場面、状況を捉え、単元の課題を設定し、学習の計画を立てる。</p> <p>課題 主体的に単元の学習を進めることができるよう、Let's Watch and Think 2 を視聴し学習の見通しを立てる場を設定したり、学習到達目標 (CAN-DO) を共有したりする。</p> <p>追究 コミュニケーションを行う目的や場面、状況を明示する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分たちの町や地域のよさなどを聞き手に分かりやすく伝えたり、考えを伝え合ったりしよう。</p> </div> <p>地域にある施設、ない施設、欲しい施設の説明を聞こう。</p> <p>○ Let's Listen 1</p> <p>○ Let's Play 2 Pointing Game</p> <p>追究 自分たちの町、地域のよさを見いだすことができるよう、様々な友達を相手にする機会を言語活動の中に意図的に設定する。</p> <p>地域にある施設やない施設について交流しよう。</p> <p>○ 集中力ゲーム</p> <p>○ Let's Play 1</p> <p>○ Let's Talk ペア同士で、自分たちの町にあるとよいと思う施設について交流する。</p> <p>○ Let's Read and Write ①</p>
2	<p>住んでいる地域のよさについて、理由を付けて話したり、聞いたりしよう。</p> <p>○ Small Talk 自分の町の好きなどころ</p> <p>○ Let's Listen 3</p> <p>○ Let's Talk 教師の演示を参考に、ペアで地域のよさを伝え合う。</p> <p>○ Let's Chant "I like my town." これ以降毎時間行う</p> <p>○ Let's Read and Write ②</p>
3	

時	教師の支援 (課題, 追究, パフ, メタ)
4	<p>地域にあってほしい施設とその理由、施設があるかないかを伝え合おう。</p> <p>○ Let's Watch and Think 1</p> <p>○ Activity 1</p> <p>○ Let's Play 3 Pointing Game</p>
5	<p>地域についてまとまりのある話を聞いて、内容と意見をとらえよう。</p> <p>○ Small Talk 町にあって欲しいもの</p> <p>○ Let's Watch and Think 2</p> <p>○ Let's Read and Write ③</p> <p>○ Activity 2</p>
6	<p>ミニポスターやワークシートを参考に、自分の考えを添えた地域紹介の内容を考えよう。</p> <p>○ Let's Watch and Think 2</p> <p>○ Activity 2 地域について聞き手に分かりやすく発表するための紹介カードを作成する。</p> <p>追究 聞き手に分かりやすく伝えることができるよう、発表内容を整理するためのワークシートを用意する。</p> <p>パフ 他者に配慮した発表となるよう、自分も他者も共に理解可能な語句、表現等の中から伝えたい内容に近いものを選択するよう促す。</p>
7	<p>自分たちが住む地域についての発表を、聞き手に分かりやすくしよう。</p> <p>○ Activity 2 班内で互いに記録動画を撮影しながら発表し合い、記録動画を見返したり、ルーブリックを参考にアドバイスをし合ったりしながら改善点を見いだす。</p> <p>パフ 聞き手に分かりやすく伝えることができるよう、写真やイラスト等の積極的な活用や伝えたい内容を整理した紹介カードの提示を促す。</p> <p>メタ 記録動画とルーブリックを活用して発表の改善点を見いだすよう促したり、学習到達目標 (CAN-DO) に即した振り返りの場を設定したりする。</p>
8	<p>○ 作成した紹介カードから、教師の言う語を探す。</p> <p>○ STORY TIME of Unit 4</p>

5 本時案 (7/8)

<p>本時の目標 自分たちの町や地域にある施設や欲しい施設に関して、他者に配慮しながら聞いたり話したりするとともに、留学生との交流を見据えて発表のよさや改善点を見いだす。</p>	
<p>学習活動 (○) と子供の姿</p>	<p>教師の支援 (☆, 罫, 鯨, パフ, メタ) と評価 (◇)</p>
<p>○ Let' s Chant “I like my town.” をとおして、本時で伝え合うために必要な基本的な表現を確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>I like our library. 施設を表す語句を確認できたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>We like our town very much. 町のよさを発表で交流しようね。</p> </div> </div> <p>○ 本時の課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>町、地域のよさを伝えようとしても、発表を聞く留学生に分かってもらえないといけないよね。</p> </div>	<p>☆ 発表に必要となる簡単な語句、基本的な表現を復習することができるよう、Let' s Chant を活用する。</p> <p>☆ 子供が学習の主体になるよう、学習計画に即した本時の課題を子供と設定する。</p>
<p>課題 自分たちが住む地域についての発表を、聞き手に分かりやすくしよう。</p>	
<p>○ 発表の基本的な流れを確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>作った紹介カードに書いた順に話すのが基本だな。内容も整理したからね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>教室全体のいろいろなところを見ながら話している。聞き手とのアイコンタクトも大事だ。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>発表ルーブリックを参考に、紹介カードの指さし、はきはき流暢な話し方なども意識しながら、聞き手に分かりやすい発表を目指そう。</p> </div> <p>○ 自分たちが住む地域について発表し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>作った紹介カードを見ながら話してしまいがちだな。なんとか聞き手を見ないと。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>伝えたい内容なんだから、話す語句や文をある程度覚えてしまうといいと思うよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>話しながら相手の様子を見ないといけないね。相手が頷くと伝わっている証拠かも。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>聞く側も話の内容がわかったら頷いたり Sounds good! などと言ったりしよう。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>記録動画を見ると、自分がどのように発表しているのかよくわかるね。改善点は……</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ルーブリックにある各項目のAを目指すと、自然と聞き手に分かりやすい発表になるよ。</p> </div> </div> <p>○ 学習を振り返り、成果を見いだす。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>いろいろな施設を表す語句がわかった。カタカナ言葉になっているものも多いね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>簡単でも一般的な言葉を選んだ方が、函館を知らない留学生にも分かってもらえそう。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>見せている資料を指さしながら話したり、アイコンタクトをしたりすることは、どの言語で話すときでも大切にしないとけないね。</p> </div>	<p>◇ 他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、自分の考えを添えて簡単に伝え合おうとする。【主】</p> <p>☆ 発表の基本的な流れを確認し、聞き手に分かりやすい発表にする工夫を考えることができるよう、Let' s Watch and Think 2 を視聴する場を設ける。</p> <p>パフ 聞き手に分かりやすく伝えることができるよう、写真やイラスト等の積極的な活用や伝えたい内容を整理した紹介カードの提示を促す。</p> <p>メタ 発表を聞き手に分かりやすいものにすることができるよう、班内で記録動画を見返したり、ルーブリックを活用してアドバイスし合ったりしながら発表の改善点を見いだすよう促す。</p> <p>☆ 子供が具体的な発表の改善点や学びの価値を見いだすことができるよう、ルーブリックに即して教師が見た発表の様子を伝えたり、発表で見られたよさを取り上げ称賛したりする。</p> <p>メタ 一連の学習の成果を学級全体で多面的に捉え、授業のみならず生涯にわたって継続して外国語習得に取り組んだりコミュニケーションを図ったりすることができるよう、学習到達目標 (CAN-DO) に即した振り返りの場を設定し、T チャートによる板書で成果を可視化する。</p>